

# 神宮教化研修会開催

愛知県神社庁研修所(共催 愛知県神社庁教化委員会)では、6月27日・28日の2日間にかけて、伊勢市神宮会館にて神宮教化研修会を開催し30人が参加した。本研修会は神宮の祭祀を始め機構全般にわたり研修を行うことにより、本宗たる神宮の正確な理解と崇敬心の涵養に役立てるとともに、次回ご遷宮の啓発に即応する態勢の強化を図る目的で開催されたものである。



1 日目の第一講義は、神宮技師の岡田泰明氏による「神宮の森林について」と題するもので、神宮の宮域林の歴史的変遷とともにその目的と希少性、また苗畑や萱地など現在神宮が管理しているものの特徴などの説明がなされた。第二講義は、神宮宮掌矢野高陽氏による「神宮の奉賽について」と題するもので、神宮鎮座以降現在に至るまで奉賽の歴史を、順を追って説明され、殊に明治以降における神宮大麻の頒布並授与の現在の体制に整うまでの歴史については詳細に説明がなされた。続いて第三講義は、神宮宮掌の大野由之氏による「神宮のおまつりにについて」と題するもので、神宮の鎮座の由緒を詳細するとともに、神宮における祭祀がどのような歴史と目的をもってなされているのかを資料を用いて説明された。中でも遷宮式年20年の法的根拠を様々な側面から指摘された点はとても有意義な解説であった。その後、夕拝として夜間神宮参拝を行った。



2 日目は朝拝として神宮を参拝した後、神宮の施設見学として徴古館・農業館・神宮美術館の3施設を見学するとともに、隣接する皇學館大学の神道博物館を見学し見識を深めた。